

奈良～室町時代

政治史①

2 次のA～Cの文章を読み、あとの各問いに答えよ。

A 奈良時代には、太政官の首脳を中心として、天皇による政治が行われた。この時代の政治の流れは、ある時は律令制度の原則を守ろうとし、ある時には律令制度の原則の修正や仏教への依存に傾くといったものであった。やがて奈良時代末期から平安時代初期にかけての頃になると、律令制度の原則をそのまま維持することはできなくなった。そのため、律令政治の引締めや財源の確保が課題となった。また、9世紀には北家藤原氏が天皇の権力を代行する前例もつくられた。その後、一時、天皇親政が復活し、朱雀・村上天皇の時代には、律令制度下の税制や土地制度の手直しによって、国家財政が立て直された。10世紀後半の政変以降は摂政・関白がほぼ常置されるようになり、1世紀に及ぶ摂関政治が行われた。

問1 下線部①に関して、元明天皇の政治を補佐した右大臣の名を、漢字5字で記せ。

問2 下線部②に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選び、符号で答えよ。

- ア. 橘諸兄が墾田永年私財法を発した。
- イ. 藤原仲麻呂が養老律令を施行した。
- ウ. 道鏡が太政大臣禪師として政権を握った。
- エ. 長屋王が百万町歩の開墾計画を立てた。

問3 下線部③に関する記述として正しいものを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 一条天皇が藤原道長を関白とした。
- イ. 光孝天皇が藤原基経を関白とした。
- ウ. 清和天皇が藤原良房を関白とした。
- エ. 円融天皇が藤原冬嗣を関白とした。

問4 下線部④を推進した人物名として最も適切なものを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 菅原道真
- イ. 藤原時平
- ウ. 三善清行
- エ. 藤原忠平

問5 下線部⑤の関係者ではない人物名を、次の中から一つ選び、符号で答えよ。

- ア. 源高明
- イ. 藤原兼家
- ウ. 源満仲
- エ. 藤原実頼

B 11世紀後半、後三条天皇は摂関家を抑えて天皇家の経済的基盤を強化し、次の白河天皇は退位後に院政を開始した。この院政期には、最初の武家政権である平氏政権が成立した。やがて治承・寿永の乱が起これ、この争乱の中で、平氏政権に代わって、源頼朝が鎌倉幕府を開いた。鎌倉幕府の政治は当初、將軍の専制で行われたが、承久の乱後、執権政治が確立した。元寇以後は、北条氏本家の家長(惣領)による専制政治化が進み、有力御家人らの幕府離反や悪党の成長などによって鎌倉幕府は衰え、元弘の変を経て滅亡した。

問6 下線部⑥に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選び、符号で答えよ。

- ア. 平清盛は安徳天皇の即位によって外戚としての地位を固めた。
- イ. 平氏政権は西国一帯の武士を家人として組織した。
- ウ. 平清盛は征夷大將軍に就任し、一族を高位高官につけた。
- エ. 平氏政権は30余国の知行国主、500余の莊園領主であった。

問7 下線部⑦に関する次のa～dの事項を年代順に並べた時、正しいものを、あとのア～エの中から選び、符号で答えよ。

- a. 俱利伽羅峠の戦い b. 摂津一の谷の合戦 c. 寿永二年十月宣旨
 - d. 富士川の戦い
- ア. d→c→a→b イ. a→c→d→b ウ. a→d→b→c
- エ. d→a→c→b

問8 下線部⑧に関する記述として正しいものを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 北条義時が政所と侍所の別当を兼任した。
- イ. 北条貞時が永仁の徳政令を公布した。
- ウ. 北条泰時が御成敗式目を制定した。
- エ. 北条時頼が連署と評定衆を創設した。

問9 下線部⑨を何と呼ぶか。漢字2字で記せ。

C 室町幕府の支配体制は、南北朝の動乱を経て固まった。4代將軍の足利義持から8代將軍の足利義政の時代にかけての室町時代中期は、將軍の権力と權威が相対的に安定していたといえるが、次第に有力守護の台頭によって揺らぐようになった。そして応仁の乱が起^⑩こると、中央権力者としての將軍の権力と權威は低下し、下剋上の世の中となった。以後、各地で戦国大名が成長し、1世紀に及ぶ戦国時代を迎えた。戦国大名は領内統治のために分国法を制定し、その中には家臣の私闘を禁じる法令も見られた。^⑪

問10 下線部⑩に関する記述として正しいものを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 6代將軍の足利義教が守護の赤松満祐によって殺害された。
- イ. 管領家の中から、山名持豊が台頭した。
- ウ. 4代將軍の足利義持が、鎌倉公方の足利持氏を滅ぼした。
- エ. 侍所の所司を出す四職の中から、細川勝元が台頭した。

問11 下線部⑪に該当する法令名を、漢字5字で記せ。